

まるごとりんご

りんごの郷 エンジョイ生活 R5

～冬きたりなば春遠からじ～

令和六年の年も明け特別養護老人ホームりんごの郷では、ようやく新型コロナウイルス感染も落ち着いてまいりました。ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

ご家族様との面会については、近日中にメールにてお知らせする予定です。メールの確認をお願いいたします。

～年末年始くらい飲みたいなあ～

新型コロナウイルス感染が施設内で広がりご利用者の皆様にご不自由をお掛けしているところ「年末年始くらい飲みたいなあ」という呟きを耳にしました。

さっそく皆さんに意向を確認し、飲酒を希望される方には何を用意すればいいのか伺いました。「お正月だから日本酒かな？銘柄？そうだなあ八海山は家でも飲んでたね、久しぶりに飲みたいな。」と言われる方や「え～いいの？日本酒かな。銘柄は何でもいいよ。」と飲めるというだけで喜んで下さる方など反応は色々でした。

「そうやって喜ばせておいて、出してくれないんじゃないの？」と疑う方も…。

疑いを晴らすべく、ご利用者様ごとにお酒を購入し年末年始に楽しんでいただくことにしました。

翌日、飲酒された感想を伺うと「いい薬をもらったよ、体が温まってよく眠れた。」と言われる方や「美味しかったよ。」と満面の笑みで答えて下さる方「え～もらってないよお、今日もらえる？」と早くも晩酌を楽しみされる方反応は様々でしたが、最後は皆さん「今日も飲めるの？楽しみだな」という言葉は一緒でした。

どうぞ、どうぞせっかくの機会ですから思う存分楽しんで下さい。



～何が出来るのかな？～

職員からの依頼を受け、ご利用者の皆さんはそれぞれのパーツの色塗りをして下さいました。一応始める前に制作総監督の松井理学療法士から何が出来るのか、どこのパーツなのか写真付きで説明をいただいたはずなのですが…ぼろぼろのパーツからは完成形が想像しづらいのかもしれませんが。職員が「お煎餅に醤油を塗っているようですよね」と言うと「そうだね、まんべんなく醤油塗らなきゃ」「なんか美味しそうに見えてきた。」「こんがり焼かないとね。」等々煎餅話で盛り上がります。



「丁寧に塗っていただいてありがとうございます。」と手を絵具で汚しながら真剣に色を付けてくださっているお礼を伝えると「本当？こんなんで役に立った？役に立ったのならいいけど…」と皆さん謙虚で、頭が下がります。

始める前は、皆さん興味を持って色を塗ってくれるかしら？汚れるから嫌がられるかも…と協力を得られるか不安でしたが、お願すると楽しそうに色を付けてくださっていて嬉しくなりました。完成にはもう少し時間がかかります。まだまだ皆さんのご協力が必要なので宜しくお願いします。

～何が出来るのかな？続編 黙々と～

制作総監督は時間の合間を縫って、ご利用者の皆さんが制作活動に参加しやすいようにパーツを切り分けたり、組み立てたいと準備に余念がありません。

下地絵(イラスト)の目が穏やかな優しい目だったので、書いた人に「似てますね。」と伝えると「本当はもっと迫力のある怖い目にしたかったんですが…」というお返事。

人柄が出てしまうんですね。早く皆さんと完成させて新年をお祝いしたいと思います。



～労働環境改善委員会 トランスファー研修 in ティサービス遊湯～

令和5年度より北信地域事業本部に統合した中野市にあるティサービス遊湯の職員より、ジェイエー長野会で行っている北歐式トランスファーについて事業所で研修会を行いたいのと講師依頼がありました。

最初はスライディングシートの使い方です。支援される側、する側それぞれ体験していただきました。「えー凄い！」「こんなに使うと使わないでちがうんだねえ」「支援される方も楽だね」「これなら利用者さんに自分で踏ん張ってもらえばいいね！」…等々

和気あいあいとした雰囲気の中、時々笑い声も聞かれました。けれど皆さん真剣に取り組んで下さいました。



スライディングシートの使い方の後は、現在ティサービス遊湯で課題となっている事例検討です。ここでは講師としてではなく同じ法人のスタッフとして職員の皆さんと「〇〇に出来ないかな？」「それはリスクが高いよね。」「じゃ□□は？」「あーいいかも…」等々意見交換も和やかに進みます。事業所内だけだと新しい気付きや発見が難しいこともありますが、第三者が介入することで新たな視点が生まれることもあります。私達もティサービス職員の皆さんの視点から、新たな気付きをいただくことができ、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。



今後もこのような研修会や事例検討会などを通し連携を深めていければと思います。ティサービス遊湯の皆様、ありがとうございました。

～開所記念献立～

平成14年12月10日 特別養護老人ホームいんごの郷は開所致しました。今日は開所記念献立です。献立は、握り寿司・お吸い物・煮物・フルーツのホイップ和えです。「おっ、今日は珍しいな」とお膳を愛でられる方、お膳を目で追われる方など配膳していてもご利用者の皆さんの嬉しさが伝わってきます。

「私もお寿司食べたい！」と普段はお粥の方も熱望され事故がないよう本人や担当職員、管理栄養士、厨房職員と確認しながら握り寿司を提供させていただきました。



また、山葵に顔をしかめていた方の山葵を取り除こうとしたところ「このままでいいよ」と言葉を掛けて下さり、久しぶりの山葵を堪能されていました。

面会時ご家族に「久しぶりにお寿司を食べたよ」と開所記念献立の話をして下さる方もいて喜んでいただけただけで良かったなぁと思いました。

一昨年の開所記念日は新型コロナウイルスが猛威を振るい、お祝いところではありませんでした。穏やかな日よりの中、こうして開所記念日を迎えられたことがただただありがたいなぁと感慨にふけてしまいました。

～クリスマスケーキ！～

手作りおやつの日少し早いですがクリスマスケーキ作りを企画しました。去年はホットプレートでスポンジを焼き、デコレーションしたのですが、時間がなくスポンジが冷め切らないうちに生クリームを塗らなければならず大変だった経験を活かし、今年は厨房で予めスポンジを焼いてもらい良く冷ましてから皆さんと一緒にデコレーションしました。

もちろん、りんごの郷パティシエ(食事係員)が活躍したのは言うまでもありません。デコレーションも各棟(各パティシエ)の個性が出ます。目の前でスポンジがケーキに変身する様子は、ご利用者の皆さんにとっても素敵なイベントだったのではないのでしょうか？



もちろん、クリスマスにはクリスマス献立とともにケーキが出る予定ですが、皆さんの表情を見てみると、やっぱり手作り(作った感)があった方が喜ばれるのかなと感じました。

今年もスペシャルティや手作りおやつ、行事等々皆様喜んでもらえるような企画を考えていきたいと思います。